

2023 年 10 月 17 日

2023 年度第 3 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2023 年度第 3 四半期決算を発表しました。

第 2 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、2022 年度第 3 四半期における 71 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.81 ドル)に対し、10%増加して 78 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.90 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、3%増加して 252 億ドルとなりました。
 - 純受取利息は、主に金利の上昇及び貸出金の増加による恩恵を受けて、614 百万ドル(4%)増加して 144 億ドル(FTE ベースで 145 億ドル)となりました。
 - 非金利収益は、販売及びトレーディング収益並びに資産管理手数料の増加がその他の収益の減少を上回ったため、51 百万ドル増加して 108 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、336 百万ドル増加して 12 億ドルとなりました。
 - 2022 年度第 3 四半期においては 378 百万ドルの引当金の積増し(純額)であったのに対し、303 百万ドルの引当金の積増し(純額)となりました。
 - 貸倒償却(純額)は前年度より増加して 931 百万ドルとなりましたが、依然として 2019 年度第 4 四半期のパンデミック前の水準を下回りました。
- 非金利費用は、人材及び技術のフランチャイズへの投資の増加並びに 2022 年に発表された銀行に対する査定額の増加による FDIC に係る費用の増加により、3%増加して 158 億ドルとなりました。営業効率は 63%となりました。
- 平均預金残高は、2023 年度第 2 四半期より約 10 億ドル増加(2022 年度第 3 四半期からは 870 億ドル(4%)減少)して、1.9 兆ドルとなりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、クレジット・カード残高の増加により、120 億ドル(1%)増加して 1.0 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動資金は、8,590 億ドルとなりました。

- 普通株式等 Tier1(CET1)比率は、2023 年度第 2 四半期から 29 ベーシス・ポイント上昇して 11.9%(標準的アプローチ)となり、2023 年 10 月 1 日から適用される最低所要自己資本比率を 240 ベーシス・ポイント上回りました。普通株式配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 29 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、9%増加して 32.65 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、12%増加して 23.79 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率は、11.2%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、15.5%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。